

市民公開 第37回 岐阜シンポジウム

人体解剖掛図の世界

～ 数十年の眠りから今よみがえったサイエンスアート ～

再発見された半世紀前の解剖学教室で使われていた人体解剖掛図

とき：2021年3月27日（土）13:00～17:00

ところ：岐阜大学講堂（岐阜市柳戸1番1 岐阜大学内）

主催：国立大学法人 東海国立大学機構 岐阜大学

後援：日本解剖学会・日本医史学会・日本医学教育学会
岐阜県医師会・岐阜市医師会・岐阜大学医学部同窓会

■主催者挨拶
森脇久隆
（岐阜大学学長）

■第一部 解剖掛図を巡る多角的考察

- 1) 「岐阜大学解剖学教室所蔵の人体解剖掛図の歴史」
千田隆夫
（岐阜大学医学部教授）
- 2) 「人体解剖図ならびに理科美術(標本画)の近代史」
小村一也
（NPO 法人 nature works 理事長）
- 3) 「人体解剖図における日本的表現 -東京大学医学部解剖学掛図より-」
上野恵理子
（東京大学総合研究博物館特任研究員）
- 4) 「人体解剖図はいかに作られ、使われたか -解剖図の500年の歴史-」
坂井建雄
（順天堂大学保健医療学部・医学部特任教授、日本医史学会理事長）
- 5) 「解剖掛図の思い出について」
松下捷彦
（高山赤十字病院名誉院長）
- 6) 「私たちに人体解剖掛図が語ること」
川窪伸光
（岐阜大学応用生物科学部教授）

■第二部 総合討論
解剖掛図の意義と貢献

■オーガナイザー・司会
千田隆夫・川窪伸光

入場無料

会場参加 +
インターネット視聴参加

新型コロナウイルス感染防止対策のお願い
来場時のマスク着用・手指消毒をお願いします。発熱等風邪症状のある方は来場できません。当日会場入り口にて検温させていただき、37.5℃以上の発熱がある方は入場をお断りさせていただきます。申込みにより提供いただいた個人情報については、基本的に本事業以外の目的で利用又は提供することはありませんが、新型コロナウイルスに関する調査等のために、必要に応じて保健所等の公的機関に提供されることをご了承ください。

申し込み先

電話番号：058-293-3339

メールアドレス：

gfsympo@gifu-u.ac.jp

<https://www.gifu-u.ac.jp/contribution/sympo/sympo.html>

